

2024年度 大谷大学生チャレンジ企画
地域に寄りそうプロジェクト（通称ちいプロ）
募集要項

応募期間	2024年4月22日（月）～5月17日（金）
選考	2024年5月27日（月）～6月3日（月）
結果通知	2024年6月5日（水）

1. 大谷大学生チャレンジ企画 地域に寄りそうプロジェクト（通称ちいプロ）の概要

ちいプロとは？

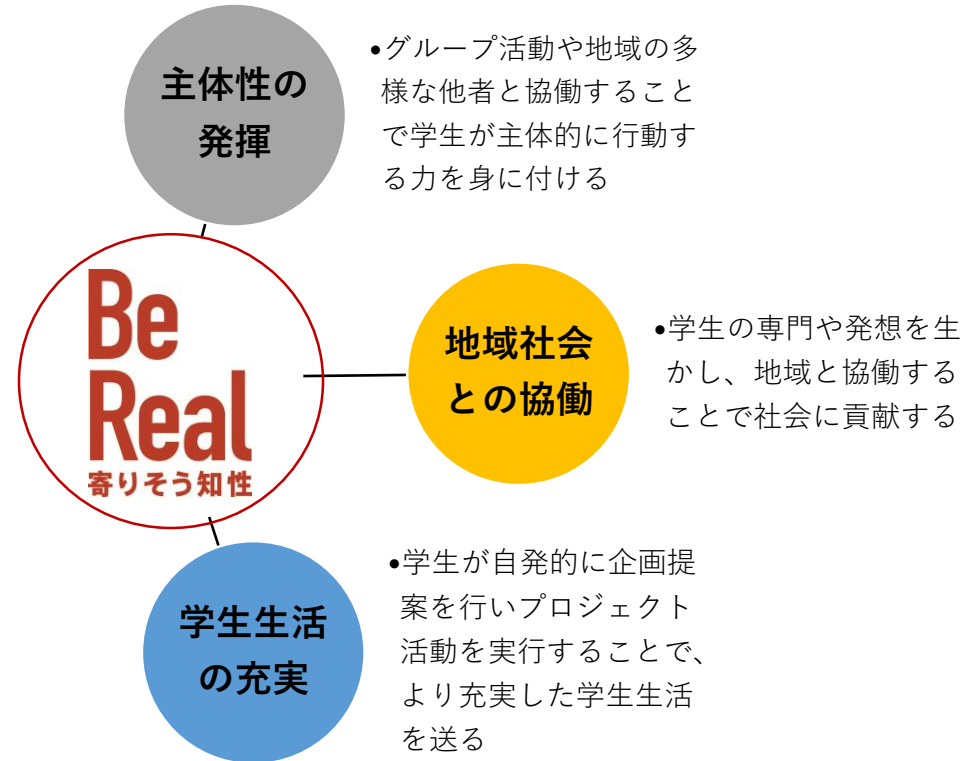
2024年度より、学生と地域の人たちが共に学び合い、育ち合うことで地域連携にチャレンジする課題に取り組む学生を支援する「学生企画プロジェクト」をスタートします。

選考の結果、学生企画プロジェクトとして採択されると、活動費として1プロジェクトあたり最大10万円が支給されます（最大5グループを採用）。

【参考】大谷大学地域連携室Webサイト
<https://www.otani.ac.jp/renkei/index.html>



実施目的



<将来像/実現した姿>

適切な世界観をもって、未来を、主体的かつ柔軟に生きることのできる人物を育成する。多様な存在が相互に敬愛する社会の実現を目指し、学生・教職員が挑戦しながら共に学び合える場としての大谷大学を創る。

（大谷大学第2次中長期プラン「グランドビジョン130（2022～2031）より）

2. 助成対象となるプロジェクト

学生と地域の人たちが共に学び合い、育ち合うことで地域連携にチャレンジする課題に取り組むプロジェクト、かつ以下のいずれか1つ以上に関連する活動を募集します。

連携先や活動場所の例：

寺院、NPO、社会福祉施設、図書館、博物館、学区、商店街、保育園・幼稚園、病院、子ども食堂、無料塾など

KEY 1 歴史・文化

文化や歴史への理解を深め、魅力を伝える活動
(活動の例：地域にある史料の整理、お祭り・地蔵盆支援、民話の収集・編さんなど)

KEY 2 共生社会

地域や他者と交流し、多様性への理解を広げる活動
(活動の例：コミュニティカフェの運営、商店街の活性化、廃材を利用したアップサイクルなど)

KEY 3 グローカル

異なる文化を持つ人地域との架け橋となる活動
(活動の例：観光客向けのガイド、日本語教室、多言語での地域案内や防災情報の作成など)

KEY 4 子ども・教育

子ども達との交流や居場所づくりを通して、
地域の子育てを支援する活動
(活動の例：子ども食堂や子育てカフェの支援、学習支援、遊び場づくりなど)

自由

いずれにも該当しない自由な
発想を実現する取り組み

3. 応募条件（以下の全ての条件を満たす必要があります。）

- ・本学に在学する学部生及び大学院生であること（学年は問わない）。
（休学中の場合はご相談ください。）
- ・グループ（3名以上）での応募とする。
- ・教職員の参画も可能とする。
- ・活動範囲が原則近畿圏内であること。
（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県、三重県）
- ・活動期間が原則2024年6月5日～2025年1月31日の間であること。
- ・2024年度後期に開催予定のプロジェクト交流会に参加すること。
- ・本学WebサイトやSNSにおける大学広報に協力すること。

4. 選考基準

書類及びプレゼンテーションについて、審査員（地域連携室員）が以下の観点から評価と審査を行います。



参加学生にとって学びになる取り組みか



地域への理解を深め、地域と協働で行う活動か



参加学生が主体性を発揮できる活動か



計画の実現性・妥当性

5. 応募の流れ



キャリアガイダンス（3回生向け）やOTANI UNIPA（在校生向け）で募集の周知を行っています

事前相談

- 2024年4月5日（金）～5月17日（金）16：00まで
- 事前相談の日時については地域連携室の窓口にてご相談ください。

応募

- 5月17日（金）受付分まで
- 「ちいプロ申請書」と「ちいプロ収支予算書」を地域連携室に提出してください。

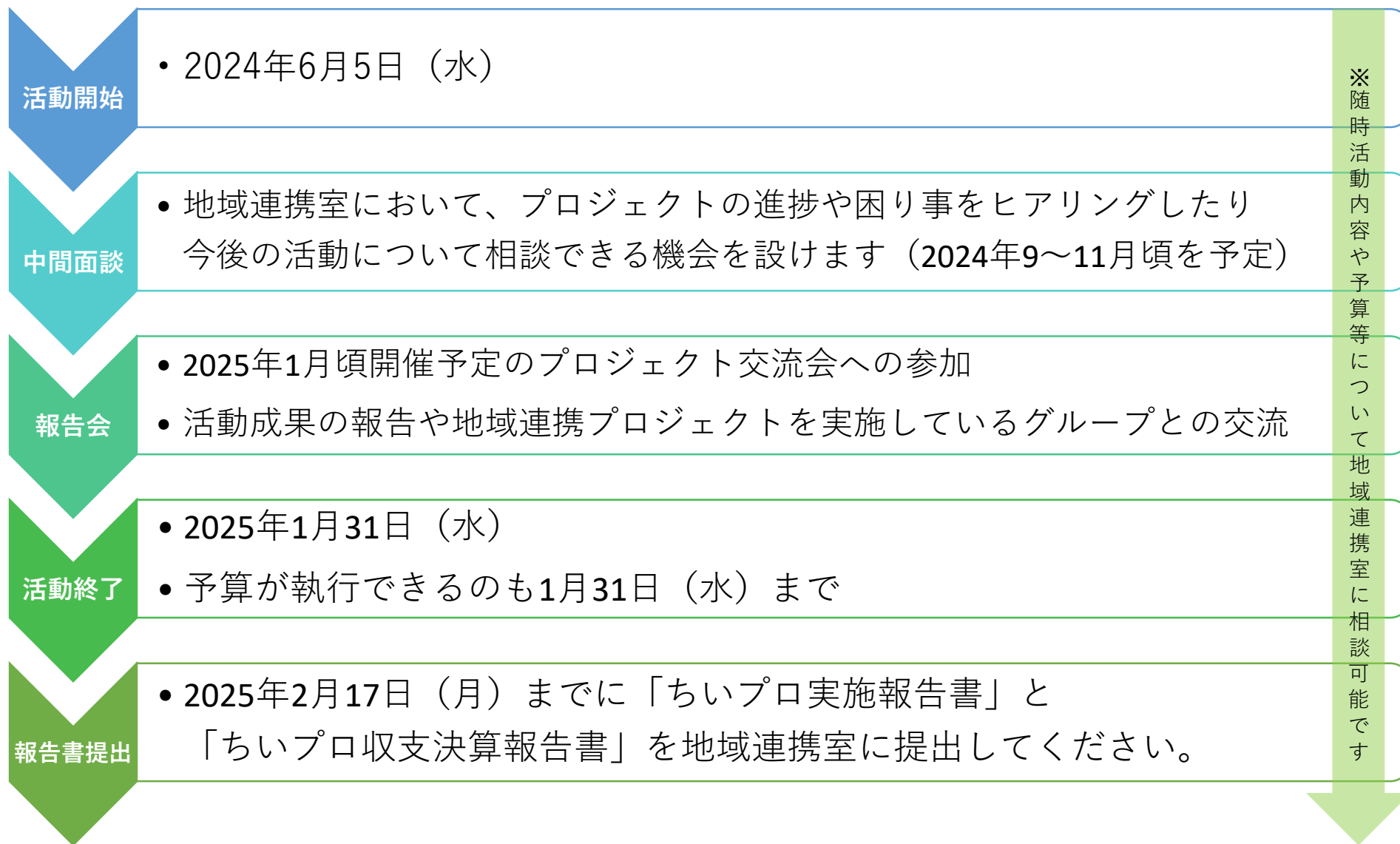
選考

- 2024年5月27日（月）～6月3日（月） ※時間は別途調整します。
- 書類審査及びプレゼンテーションによる選考を実施します。

結果通知

- 2024年6月5日（水）に地域連携室前に選考結果を貼り出します。

6. 採択された場合の年間スケジュール



7-1. 助成金について

- 採用された個人・団体については、1件あたり最高10万円を限度に、認められた経費を助成金として給付します（最大5件まで）。
- 助成対象は、2024年6月5日～2025年1月31日までに支出した経費です。
- 助成金の原資は主に「学費」と「国からの補助金」です。有効に活用いただくため、次ページで示す通り、学生企画プロジェクトに直接的に必要な経費のみを助成対象とします。

7 - 2. 助成の対象となる経費について

経費項目	用途の例
旅費交通費	事業実施に係る交通費及び宿泊費
謝金	外部講師や事業の協力者に対する謝礼金
保険料	プロジェクト実施に係る保険料
印刷製本費	冊子の印刷
賃借料	プロジェクト実施に係る会場利用料
消耗品（3万円未満）	文房具、材料費
通信費	郵送料、宅配便等
手数料	金融機関の振込手数料
その他	上記にの経費項目に当てはまらない場合

- ※1) 旅費交通費は、基本的に大谷大学～活動先の経路区間について支出する。
 ただし、自宅からの方が合理的な経路となる場合には、自宅～活動先の往復の経路区間について支出する。
 ※2) プロジェクト終了後に継続使用が可能なものについては、大学帰属とする

<支出が認められない経費>

- ・ 固定資産の購入等に要する経費（パソコン、iPadなど）
- ・ 飲食費（グループメンバーの飲食や親睦、会議・打合せ等の飲食代など）
- ・ 団体及びサークル等の維持・運営に係る経費用品費
- ・ 記念品等個人給付的な経費
- ・ 個人の能力開発や技術の習得に係る経費
- ・ 領収書がない、領収書の用途が不明など学生企画プロジェクトに使用したことが確認できない経費
- ・ その他地域連携室が学生企画プロジェクトに直接的に必要でないと認める経費

8. 地域連携室によるサポート

- 地域連携アドバイザーによる活動支援やアドバイス
- 連携先に関する相談
- 経費の使用に関する相談
- 物品の貸出し（自転車、カメラ・GoProなどの撮影機材、オンラインミーティングツール、ワークショップグッズなど）
- 学内施設の貸し出しに関する相談
- Amazon等を利用する場合は、大学を通じて購入することが可能です。

よくある質問は、以下のQRコードを
読み取ってご覧ください



よくある質問ページ (<https://x.gd/fSjui>)

<お問い合わせ先>



- 地域連携室（響流館1階）窓口
- 平日9:00～17:00（11:30～12:30除く）
- E-mail：commu-labo@otani.ac.jp

Be
Real

寄りそう知性



大谷大学